

No.127
December
2021

毛髪科学

- 第150回学術大会(特別WEBセミナー)
- MGK西日本特別基礎セミナー(特別WEBセミナー)

毛髪科学技術者協会
Hair Scientists Association

目 次

No. 127 December 2021

巻頭言				2
【第150回学術大会（特別WEBセミナー）要旨】				
水共存下で発揮されるジスルフィド結合の機能（前編）	梶山女学園大学	上甲 恭平		3
毛髪構造の損傷に対する低分子物質の有用性	株式会社アリミノ	富樫 孝幸		14
毛髪と染料—光を操る新しいヘアカラーへの挑戦	花王株式会社	ヘアケア研究所3室	中村 隆仁	17
【MGK 西日本特別基礎セミナー（特別WEBセミナー）要旨】				
所要HLB理論による乳化物設計	合同会社DaKARPO	代表 三栖 大介		23
【毛髪のピブリオ・テーク 連載13】				
社名ってナニ？			島田 邦男	31
【特別連載】				
パーマメント・ウェーブ用剤に関する分析方法の変遷 連載4	リアル化学株式会社		村林 茂	34
第150回MGK学術大会報告（特別WEBセミナー）				40
MGK 西日本 特別基礎セミナー（特別WEBセミナー）報告				41
第48回総会通常総会議決結果の公告				42
薬事関連通知				43
会員動静				46
幹事名簿				47
「毛髪科学」原稿執筆について				48
「毛髪科学」原稿作成要領				49
日本パーマメントウェーブ液工業組合 事務局だより				50
編集後記				51

◇ 巻 頭 言 ◇

今年の夏も暑かった！それでも猛暑日が東京では3日とか…。しかし、連日35℃近くの気温は身体に堪え、気力も失せ大幅にこの巻頭言の原稿締め切りをオーバーし編集委員の皆様には、大変ご迷惑をおかけして誠に申し訳ございませんでした。

熱中症警戒アラートの中行われた東京オリンピック。選手からの要望もありましたが直前での競技時間の変更等、選手はあらゆる事柄を想定して準備してきた5年間、少なからず影響があったのではと思いました。そんな中、札幌で行われたマラソン競技で日本選手は6位入賞が最上位でしたが、足を引きずるように73位で倒れこむようにゴールした服部選手、命にかかわるような重い熱中症でした。

「途中何度も棄権ということが頭をよぎったがこれまで戦ってきたライバルの想いを踏みにじることは絶対しないと思いました」のコメントに心動かされました。自分だけ、個人だけでない多くの方々の思い、積み重ねてきた時間等を背負って戦っているんだなと胸が熱くなりました。日本選手の獲得メダルは58個過去最多の想定以上の大活躍でした。引き続き行われた東京パラリンピック。前回大会で金メダルゼロが13個、総獲得メダル数が51個と倍増し大健闘でした。女子のマラソン競技では、獲得した金メダルを表彰式で選手が伴走者に真っ先にメダルをかけるなど周りの方々に感謝の思いが伝わる心温まる光景でした。

この猛暑以上に大きな問題が新型コロナウイルス感染拡大予防対策です。政府は緊急事態宣言を発令しましたが、一般庶民としてはオリンピックが行われている時、「外出ぐらいは」の気のゆるみが新規感染者を増大させ、東京では1日5,000人を超える過去最多を更新する第5波となり全国で猛威をふるっています。昨年、毛髪科学誌124号に記載した巻頭言が、新型コロナウイルス感染拡大の始まりでしたが、予想をはるかに超える感染力で終息が見えないどころか拡大がどこまで・いつまで続くのか不安を増しています。3月ごろより始まったワクチン接種は2回打った方が約50%で、年内には70~80%の方が接種済みといわれていますが、本稿を記している9月時点では、顕著な減少効果が現れておりません。

しかしながら経済活動は徐々に回復傾向で美容業界でも「パーマ剤の市場への出荷統計調査結果」(日本パーマウェーブ液工業組合調査)で2021年度上半期(1~6月)の対前年比金額約115%となっており、前年の2020年コロナ感染拡大による影響の10%減を回復しました。世界的にも経済活動が再開し活発化しつつありますが、コロナ以前の生活に戻るのはまだまだ先のことと思われまます。

昨年の毛髪科学技術者協会の活動は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、学術大会等のリアル開催を中止とし、WEBセミナーとして第149回・第150回学術大会、MGK特別基礎セミナーを開催しました。このようなWEBセミナー・オンライン配信は、大変便利で視聴に場所も選ばずある程度自由な時間で受講できるので有難いですが、毛髪科学技術者協会の学術大会として存在感が薄い、何か物足りなさを感じるのは私だけでしょうか？皆さんと一同の元お会いし、コミュニケーションを深め啓発され、お互いを高め合うことが大事なことだとコロナ禍の時、あらためて感じております。

本年も同様のWEB開催が主となりますが、コロナ禍での毛髪科学技術者協会の新たな意義を見出して行きたいと考えております。ご協力の程宜しくお願い致します。

(文責：小林)